

単元まるごと計画「This is me! わたしのたからもの」(全8時間)

単元のゴール (can-do) : 自分の好きなこと・得意なこと・宝物について、I like / I'm good at / My treasure is を使って伝え合い、新しいクラスの仲間のことを知り合う。

評価規準 3観点 (国研参考資料の文型で作成)

知識・技能	I'm from / I like / I'm good at / My treasure is などの表現について理解しているとともに、自分の好きなことや得意なこと、宝物について伝え合う技能を身に付けている。
思考・判断・表現	新しいクラスの仲間のことを知り合うために、自分の好きなことや得意なこと、宝物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	新しいクラスの仲間のことを知り合うために、自分の好きなことや得意なこと、宝物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。

◎＝記録に残す評価(方法つき)。◎のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全8時間

時	紙面	主な活動	帯(毎時間のはじめ)	評価
1	SO	先生の自己紹介を聞く(I'm good at / My treasure is に会う)	歌/チャンツ	記録なし
2	SO	好きなもの・得意なことの言い方練習(絵カード)+サイコロトーク1周目(活動1)	Small Talk①話題1(先生のたからもの)	記録なし
3	YT	たからものの言い方 My treasure is と、たずね方 What's your treasure?	歌/チャンツ	記録なし
4	YT	サイコロトーク2周目(I want to を追加)+書きWS①	Small Talk①話題2(先生のとくいなこと)	記録なし
5	EC	自分の「たからものカード」をつくる(活動2)	歌/チャンツ	◎ 行動観察(知技)
6	EC	たからものカードで伝え合う①(ペア交代3人)→中間指導	歌/キーフレーズ暗唱	◎ 行動観察(思判表)
7	OH	世界の子どもの自己紹介を聞く(教科書OH)+伝え合う②→おわりにクラスのたからもの発表	歌/チャンツ	記録なし
8	OH	パフォーマンステスト(やり取り)+単元の振り返り	なし――テストに使い切る	◎ テスト(知技・思判表)+振り返りカード(態度)



45分の基本形と運用メモ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・歌	—（教科書付属音源）
5-10	Small Talk／チャンツ	Small Talk台本①
10-15	語彙の練習	絵カード
15-17	めあての確認	—（黒板に型を掲示）
17-37	主活動 ※途中で中間指導	活動シート1～2
37-45	振り返り（1行）・あいさつ	振り返りカード（汎用）

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

- 1. サイコロトーク（第2時）は1周でやめる（2周目はもともと第4時にある）
- 2. たからものカードづくりは第5時内で完成させる（家に持ち帰らせない）
- 3. 伝え合いは1人1分厳守。OHの世界の自己紹介は「1つ聞き取れたらOK」に圧縮してよい

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ 絵カード（提示用1部＋班数分）
- ☐ サイコロ（班に1個。なければ1～6の番号カード）
- ☐ 活動シート1～2（各時間、人数分）
- ☐ 書きワークシート①（人数分）
- ☐ パフォーマンステスト式（先生用・第8時）
- ☐ 振り返りカード（汎用の型・単元名だけ書き換え）

配慮が必要な子へ

- ・宝物は「もの」でなくてよい（人・場所・思い出・ペット）。実物の持参は求めない設計にしてある
- ・I'm from は出身地に限定しない。I'm from Sakura Elementary School. でもよいと第1時に示す
- ・得意なことが出ない子は「好きなこと」で代替してよい（I like で十分に伝わる）
- ・英語が出ない子は絵カードを指す＋単語1つでOK。文の数で評価しない

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・この単元の地雷は「宝物＝高価なもの」という誤解。第1時の先生モデルを古い道具や毎日つかう物にして基準を作り直す——ここを外すと家庭の経済状況が教室に出る
- ・I'm good at は、5年U8「あこがれの人」で He is good at ～. とやったあの形。主語を自分にしただけで、新しいことは何もない。can swim → I'm good at swimming の言いかえも音でつなぐだけにし、-ing の説明はしない
- ・第6時の中間指導は「Why? と質問を返して話がのびたペア」を取り上げる。6年は返すことばの力がそのまま伸びになる